

寄付金・義援金関係報告

公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団

1. 寄付金・義援金受け入れの経緯等

当財団は、東日本大震災発生後すぐに、近藤誠一文化庁長官から宮田亮平理事長への協力要請を受けて、被災文化財の救援と修復に関する寄付金・義援金の窓口となりました。併せて、当財団でも独自にホームページ等で宮田理事長名による寄付金・義援金の呼びかけを開始しました。

また、この他にも様々な方法で多くの寄付金・義援金を募るための検討を行いました。

その結果、平成 23 年 9 月に日本サムスンと連携した「平山郁夫文化財赤十字プロジェクト～東日本大震災被災文化財修復支援事業」を立ち上げ記者発表を行い、また 11 月に文化庁の協力を得てワールドモニュメント財団（本部ニューヨーク）と連携した「心を救う、文化で救う～Save Our Culture (SOC)～東日本大震災被災文化財復旧支援事業」を立ち上げ記者発表を行い、国内外を問わず幅広く寄付金・義援金を募ることとし、被災文化財の修復助成支援を今後 5 年間に渡り実施していくこととしました。

さらに、平成 24 年 3 月に作家の京極夏彦氏と連携した「京極ファン」を立ち上げ記者発表を行い、一過性ではない継続的な修復の支援を実施していくこととしました。

2. 寄付金・義援金の受け入れ状況

東日本大震災直後から寄付金・義援金の受け入れを開始し、現在までにいただいた貴重な浄財は下記のとおりです。

(1) 平成 23 年度に受け入れた寄付金・義援金

- 受入金額 2 億 7,499 万 8,941 円
- 件数 544 件

(2) 平成 24 年度に受け入れた寄付金・義援金

- 受入金額 5,115 万 9,072 円
- 件数 168 件

3. 助成の状況等

3-1. 緊急対応への助成

いただきました寄付金・義援金により、被災動産文化財を安全な場所へ保全し応急手当を施すため、及び建造物文化財の被災状況調査・技術的支援のため、緊急に対応する必要のある下記の 2 事業に助成を行いました。

(1) 事業名：東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）

助成先：東北地方太平洋沖地震被災文化財等救援委員会

助成金：平成 23 年度 合計 4,000 万円
平成 24 年度 合計 2,000 万円

(2) 事業名：東日本大震災被災文化財建造物復旧支援事業（文化財ドクター派遣事業）

助成先：東日本大震災被災文化財建造物復旧支援委員会

助成金：平成 24 年度 合計 600 万円

3-2. 修復への助成

被災文化財復旧支援事業（文化財保存修復助成）につきましては、平成 24 年度から本格的に開始しました。なお、参考までに助成決定状況について下記に記します。

○ 平成 23 年度 1 件（100 万円）

○ 平成 24 年度 78 件（8,763 万 2,858 円）

（平成 25 年 3 月 31 日現在）

平成 24 年度助成については、当初 82 件（1 億 2,040 万円）を決定していたが、計画通り実施できないことや他からの助成を受けたなどの理由により 4 件の辞退等の変更があり、上記のとおりとなった。